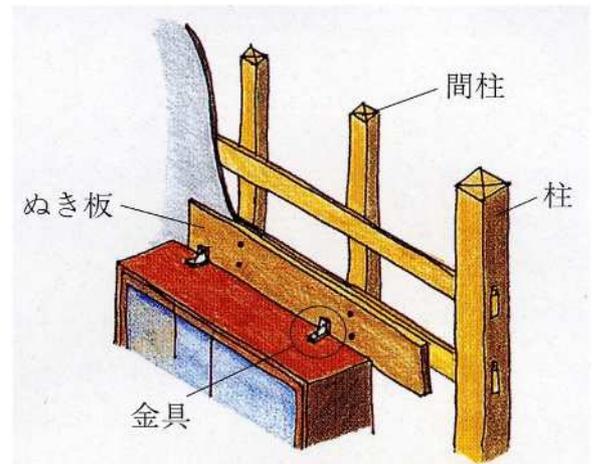


大地震では、家具が倒れたり、物が落ちてきたりして思わぬけがをします。揺れがおさまっても転倒した家具やガラス・食器の破片など室内には危険がいっぱいです。そのため、あらかじめ安全な空間づくりに努めましょう。

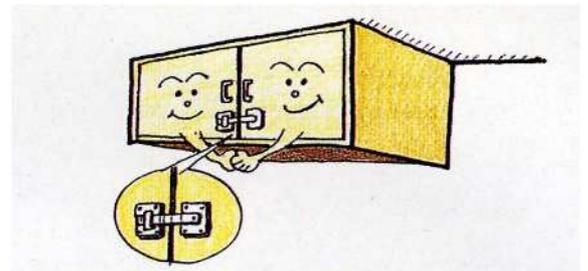
1 家具の転倒等の防止

室内の家具や調度品などの安定具合をチェックしましょう。

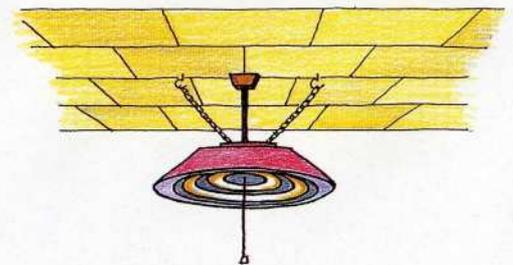
- ・家具を重ねたり、家具の上に不安定なものを置かないようにしましょう。
- ・タンス、本棚、戸棚などの背の高い家具類は、倒れないように金具等を用いて柱やぬき板に固定しましょう。柱や間柱が壁に隠れている場合は、金づち等で軽く壁をたたいて、音の変化で間柱等を見極め固定します。
- ・様々な種類の金具を組み合わせ、壁・天井・床の状況に応じ固定しましょう。



- ・観音開きの扉は、収納物の飛び出し防止のために金物を取り付けたり、紐で左右の把手をくくりつけることも有効です。



- ・照明器具は、天井の下地材に吊り金物をしっかりとめましょう。また、白熱灯や蛍光灯が緩んでいる場合もありますので、日頃から点検しましょう。



2 窓ガラスの飛散等の防止

窓ガラスの飛散を防ぎましょう。道路や通路沿いの窓は、通行人を傷つけることもありますので特に注意が必要です。

- ・ガラスは、合わせガラスや強化ガラスなど割れにくく、飛散しにくいガラスが安全です。
- ・ガラスの飛散防止対策には、飛散防止フィルムを貼ることも有効です。飛散防止フィルムの多くは、透明なポリエステルフィルムに粘着剤を塗布したもので、これをガラスの内側に貼ります。日照調整用のフィルムは、特殊なもの以外はガラスの飛散防止には効果がないので注意してください。

